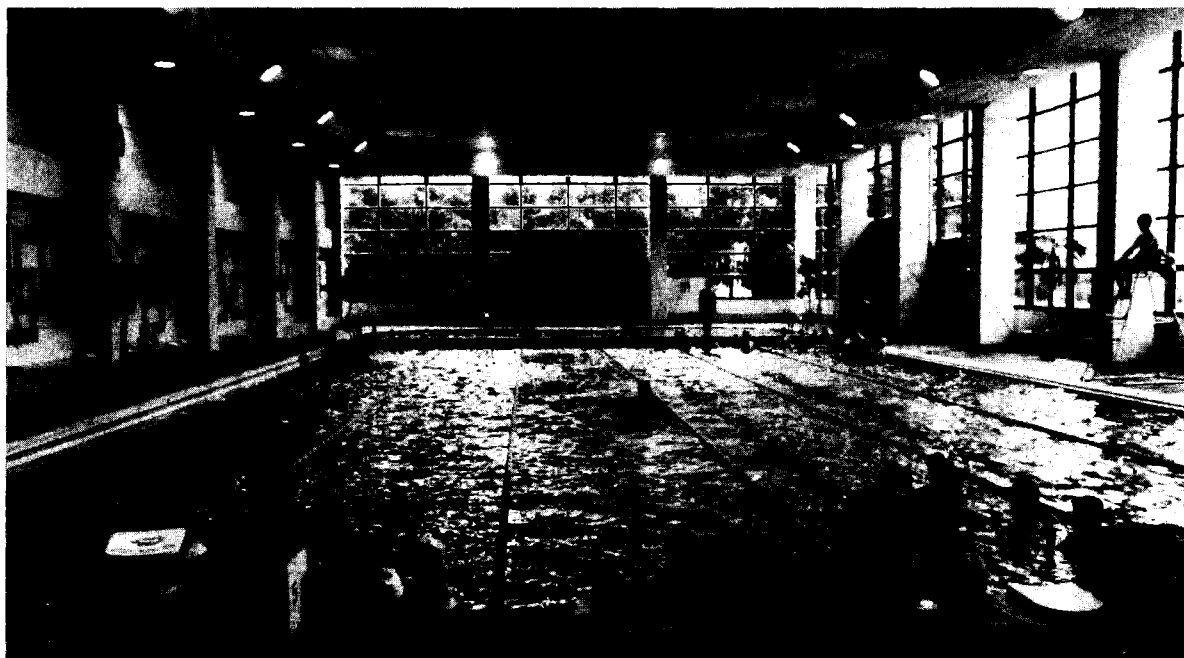


柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1988. 3. 15 SPRING VOL

9



柳泉園組合温水プール

「温水プールの利用者数

オープン以来29万人を超える、

柳泉園組合管理者 都丸哲也

早春を迎え、当組合の「柳泉園温水プール」は泳ぎを楽しむ人たちの水しぶきの音が、屋内に響きわたっています。

この温水プールの特色は、余熱利用といって、昭和61年4月から本格運転が開始された新しいごみ処理施設からの蒸気が使われ、このプールの室温、水温の温度調節や、シャワー、スポーツサウナの他、建物の冷・暖房、給湯設備に利用されております。

昭和61年4月にオープンした温水プールは、住民の皆様のご理解により、本年1月末をもちまして、ご利用いただきました方は、29万人を超えております。特に四季を通じ、巾広くご利用いただいております室内プールなどは、休日はもとより、平日も関係市等が開催する「水泳教室等」で連日にぎわっております。

住民の皆様、暖かい春に向かって、温水プールでひと足早い快適な「夏」を楽しんではいかがでしょう。

この他温水プールには、スポーツサウナ、トレーニング室、会議室などの付帯設備も完備しており、体力の増進やレクリエーションの場として、楽しくご利用いただいております。

住民の皆様、当組合では1日も欠かす事のできない清掃事業の運営管理はもとより、今後共、周辺環境と調和のとれた施設の充実を目指して、推進してまいります。

ますます複雑かつ困難になるものと予想されます清掃問題についても、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

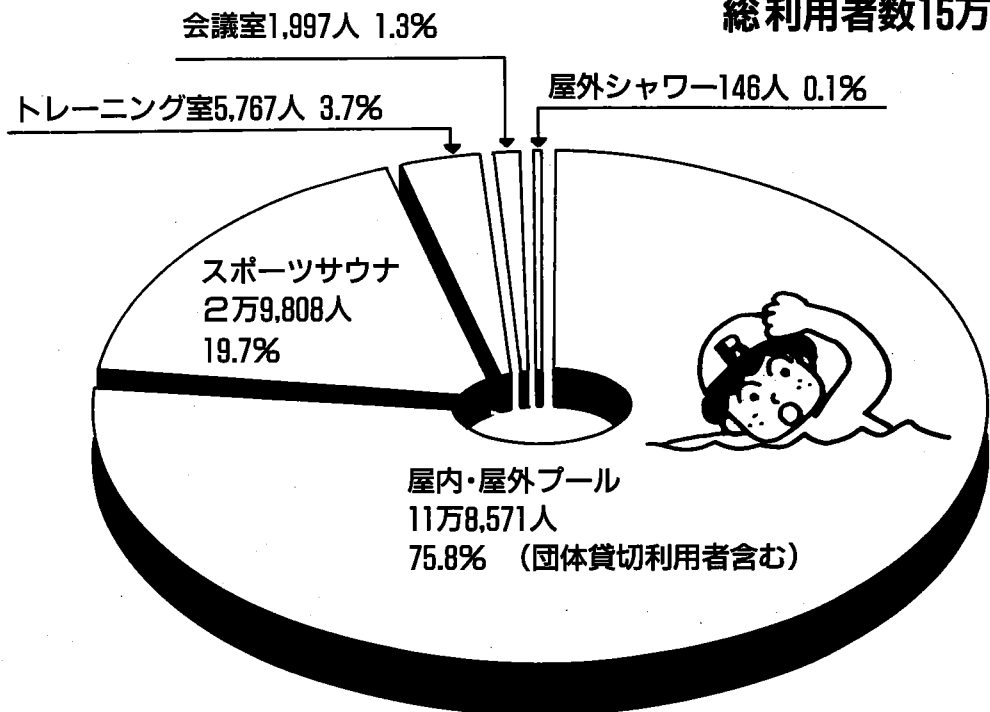
昭和61年度“柳泉園温水プール”利用者

“温水プール”

昭和61年4月13日にオープンいたしました温水プールは、組合の構成市である田無市、保谷市、東久留米市、清瀬市及び周辺住民の皆様方の体育、レクリエーション等に利用していただくために設置した

施設ですが、皆様の温かいご理解によりまして本年1月末をもちまして延 29万158 人の皆様にご利用いただいております。

**61年度
総利用者数15万6,289人**



●温水プール利用状況

昭和61年度における温水プールの利用状況をお知らせします。

●屋内・屋外プール

柳泉園温水プールの利用者の中では、大きく75.8%の割合をしめて11万8,571人となっております。(詳細は次ページに記載)

●スポーツサウナ

高校生等以上の方を対象としており、男性が48.0%(1万4,294人)、女性が52.0%(1万5,514人)となっております。

●トレーニング室

スポーツサウナと同じく高校生等以上の方を対象としており、男性が44.8%(2,586人)、女性が55.2%(3,181人)となっております。

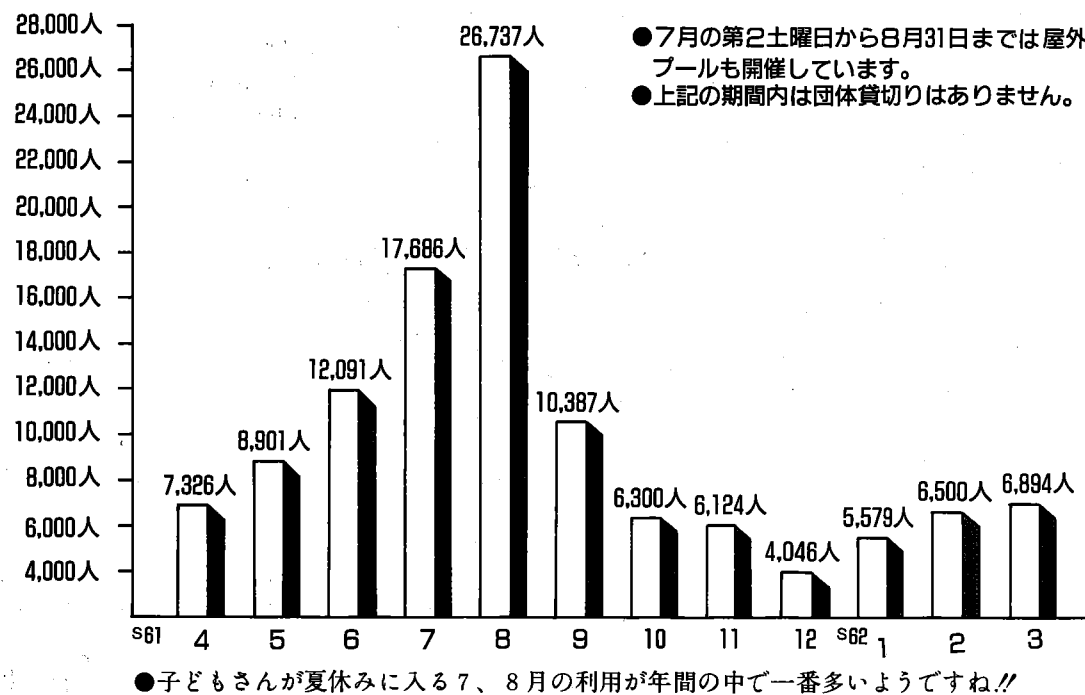
●会議室

和室と洋室の会議室があり、和室53.9%(132件)、洋室46.1%(113件)となっております。

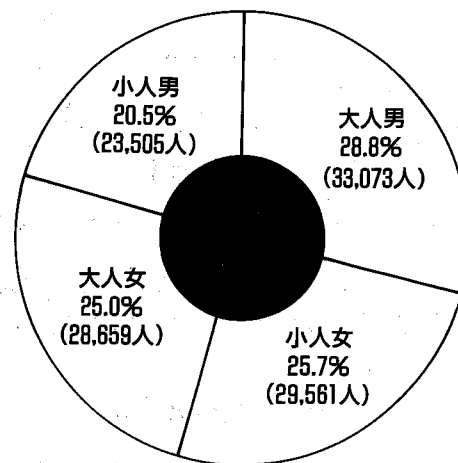
あ・ら・か・る・と

RYUSENEN NEWS

○61年度屋内・屋外プール月別利用者数 (団体貸切利用者含む)

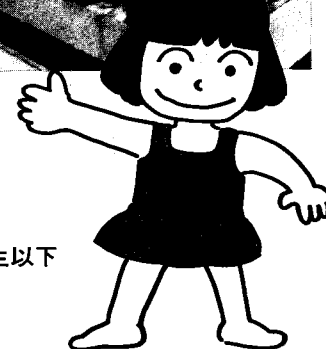


○61年度屋内・屋外プール利用者状況



注：小人……4才以上中学生以下

○上記の他に団体貸切利用者3,773人あります。
プール利用者数は合計、118,571人となります。





61年度決算報告!!

あ・ら・か・る・と

RYUSENEN NEWS

61年度決算より

昭和61年度の当組合一般会計歳入歳出決算が、昭和62年12月2日に開かれた組合議会第4回定例会において認定されました。

これによると、歳入が17億3,071万6千円（前年度比62.0%減）、歳出が15億9,409万1千円（前年度比62.7%減）となりました。

前年度と比べて歳入・歳出とも減額となった主な理由は、ごみ処理施設第二工場が完成したことと大きな建設事業が無かったことによるものです。

61年度の主な事業は、ごみ関係では昭和44年度に設置され、第二工場の運転が開始するまで使用した焼却施設（150t×2基/日）の解体工事を実施、他に第一工場及び第二工場の点検整備事業を実施しました。

61年度歳入

●分担金及び負担金

柳泉園組合を構成する四市が負担する負担金12億6,191万1千円。

●使用料及び手数料

今年度の使用料は、温水プールの開設に伴い大幅な増額となって1億456万1千円。

●財産収入

特定の事業を行うための基金に対する預金利子1,027万3千円。

●繰入金

環境整備基金、職員退職給与基金として1,818万6千円。

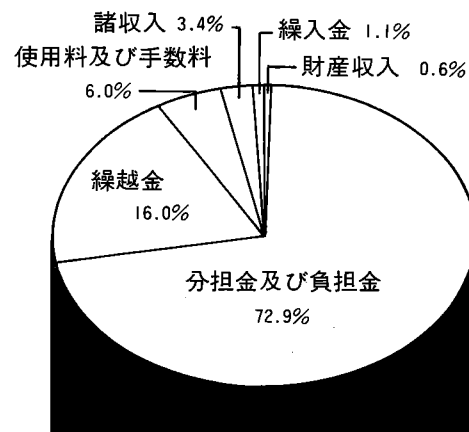
●繰越金

前年度の繰越金2億7,694万6千円。

●諸収入

組合の歳入現金運用利子、し尿処理受託事業収入など5,883万9千円。

歳入総額 **17億3071万6千円**
(前年度比62.0%減)



61年度歳出

昭和61年度決算は、歳出(支出)総額で15億9,409万1千円になりました。主な使い道は次のとおりです。

●議会費

組合議会の運営経費683万2千円。

●総務費

組合の共通する事務に要する経費1億6,941万9千円。

●ごみ処理費

ごみ処理施設第二工場の運転経費、定期点検整備の他、昭和44年度に設置された焼却施設の解体工事などの経費7億1,747万4千円。

●し尿処理費

し尿処理施設の運転経費や定期点検整備などに2億3,736万8千円。

●環境対策費

野球場、テニスコート及び温水プールの維持管理の経費の他ごみ、し尿処理施設から出る煙や水の分析費などに1億2,835万6千円。

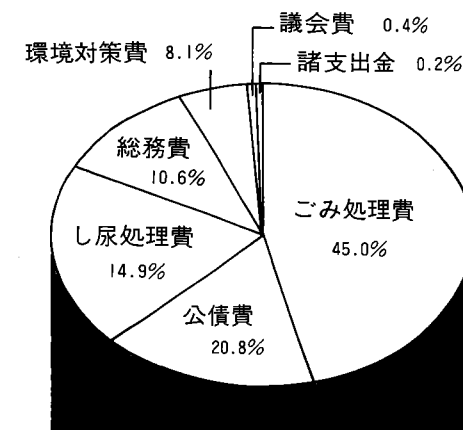
●公債費

組合債(借入金)の返済元金分として1億2,309万9千円、利子分として2億875万1千円。

●諸支出金として279万2千円

歳入決算額から歳出決算額を差引くと1億3,662万5千円となりますが、これは、歳出での事業の変更等によるもので62年度の繰越金となりました。

歳出総額 **15億9409万1千円**
(前年度比62.7%減)



歳出決算総額**15億9,409万1千円**

ごみ処理費

7億1,747万4千円

1トン当りの処理費 6,457円(直接費)

昭和61年度に、ごみ処理施設第一、第二工場で焼却した量、85,150t(年間)を東京ドームグラウンド内に高さ10m程度に入れると約1.9杯になります。

約1.9杯



東京ドーム

し尿処理費

2億3,736万8千円

1キロリットル当りの処理費 3,376円(直接費)

昭和61年度に、し尿処理施設で処理した量、70,310kℓ(年間)を、プールに入れた場合、約187杯になります。

※プール25m×15m×1m



●余熱利用の歴史

ごみを焼却炉で燃やす方法は、イギリスで100年以上も前から行われており、わが国で初めてごみ焼却炉が完成したのは明治30年で、場所は敦賀市といわれています。

世界で、本格的に余熱を蒸気として回収し、利用し始めたのは1954年で、スイス・ベルン市に処理能力100t/日の焼却炉が完成してからといわれ、わが国では昭和40年に、大阪・西淀工場に完成した処理能力200t/日の焼却炉が、初めて4,400kWのごみ発電を実用化いたしました。

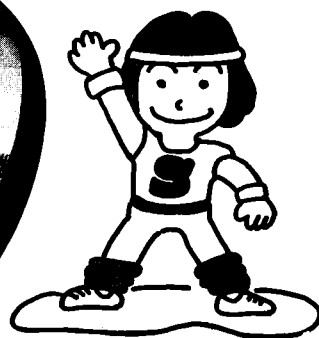
(財)クリーン・ジャパンセンター
「リサイクル87」より

エンジョイスポーツ
enjoy sports

トレーニング

楽しいスポーツをアピール!!

トレーニング&エアロビクスで
体力づくり。そして、テニス・
野球・プールとスポーツ色々
楽しさいっぱいのスペース。
仲間と一緒にお気軽にご
利用ください。



● 野球場 4月1日～11月30日

● テニス 1月1日～12月31日

● プール 1月4日～12月28日

☎0424-73-3121

へ申し込んで下さい。

Message

組合からのお願い

- ①ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみを処理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1トン処理するのに約6,500円かかり、処理の他に議会費、総務費、環境対策費、その他公害対策費用を加えると1トン処理するのに10,000円を超えてしまいます。ごみが少なくなるとこの費用を他の行政費用に回すことができます。
- ②ごみを出す時は、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないと施設を痛めたり、公害発生の要因となるため、この防止にも費用がかかります。
- ③スプレー缶・簡易ガスボンベ等は、内容物を十分出し切ったうえ、穴をあけてから出してください。なお穴をあける際には、屋外など火気等危険のない場所で行い、顔など身体にかからないように注意して下さい。
また、関係四市では有害ごみの分別回収をステーション収集方式、あるいは電気店等の拠点収集方式で市民の皆様をお願いします。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

ここが柳泉園です。

